

第 64 回 原子燃料管理検討会 議事録（案）

1. 日 時：2024 年 10 月 25 日（金）13 時 30 分～15 時 30 分

2. 場 所：Web 会議

3. 出席者（敬称略，順不同）

出席委員：北島主査(電力中央研究所)，野中副主査(東京電力 HD)，今井(北陸電力)，
江川(東芝エネルギーシステムズ)，香川(電源開発)，小柳(九州電力)，佐藤(三菱重工業)，
鳥本(四国電力)，鈴木(日本原子力発電)，高橋(東北電力)，兵頭(原子燃料工業)，
早川(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)，福田(三菱重工業)，松岡(関西電力)，
守屋(中国電力)，安井(北海道電力)，安田(日立 GE ニュークリア・エンジニア) (計 17 名)

代理委員：なし (計 0 名)

欠席委員：原田(中部電力) (計 1 名)

常時参加者：木間(グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)，松田((株)原子力エンジニアリング)，
三木(テプシステムズ)，安元(日本原子力発電) (計 4 名)

説明者：菅間(東北電力) (計 1 名)

事務局：原，梅津，田邊(日本電気協会) (計 3 名)

4. 配付資料

資料 64-1 炉心管理指針策定スケジュール（案）

資料 64-2 分科会 2 回目中間報告コメント対応表

資料 64-3-1 レビュー結果整理表_BWR

資料 64-3-2 レビュー結果整理表_PWR

資料 64-4 炉心管理指針一式

資料 64-5 第 63 回原子燃料管理検討会議事録案

参考資料-1 原子燃料管理検討会 委員名簿

参考資料-2 JEAC4001 への追記内容整理_BWR

参考資料-3 JEAC4001 への追記内容整理_PWR

参考資料-4 JEAC4001 記載修正案

参考資料-5 PB 共通コメント対応状況

5. 議 事

会議に先立ち事務局より，本会議にて，私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後，北島主査による開催の挨拶があり，その後議事が進められた。

(1) 代理者承認，会議定足数確認，オブザーバ等承認，配布資料の確認

事務局より，配布資料の確認の後，確認時点で出席委員数は 15 名であり，分科会規約第 13 条

(検討会) 第 15 項の決議条件である委員総数の 3 分の 2 以上の出席を満たしていることを確認した。その後説明者 1 名の紹介があった。

(2) 前回議事録(案)の確認

事務局より、資料 64-5 に基づき、前回議事録(案)の紹介があった。会議前にレビューできなかったため、コメントがあれば、11/1(金)までに事務局に連絡いただき、それを反映した上で正式議事録とすることとなった。

(3) 「原子力発電所における炉心管理指針」の規格案について

資料 64-1,2,3,4 及び参考資料-2,3,4,5 に基づき、規格案の進捗状況について、BWR 関連は野中副主査及び高橋委員、PWR 関連は島本委員、全体は福田委員から説明があった。

11/8 の原子燃料分科会への状況報告として、資料 64-2 の中間報告(2 回目)のコメント対応と参考資料-5 の JEAC4001 の改定について説明することとなった。

主な説明・コメントは下記のとおり。

資料 64-1 炉心管理指針策定スケジュール(案)

- ・ 前回提示した内容から 3 ヶ月後ろ倒ししている。これは、JEAC4001 と併せて上程することになったため。二つ合わせた中間報告を来年 1 月頃開催の分科会、その後、3 月の規格委員会に行うとし、成案予定時期を 2026 年度上期に設定した。

資料 64-2 分科会 2 回中間報告コメント対応表

- ・ 2 回目の中間報告で出されたコメントに対して、表 3-1 及び表 4-1 関連以外は、対応しているとの認識である。表 3-1 及び表 4-1 については、参考資料-5 で説明があるように、JEAC4001 の改定の中で対応することにする。次回の分科会には、この内容でコメントを出された分科会委員の了解を取ることになる。
- ・ 本資料及び資料 64-3-1,2 の「対応中」「対応済み」になっている部分について、分科会資料を提出するまでに、コメントが本当に対応できているかどうか再度確認してもらいたい。
- ・ 次回の分科会で説明後、さらに意見募集を求めるのか。
→ 正式には求めない。何か気づきがあれば連絡ください程度。

資料 64-3-1 レビュー結果整理表 BWR

- ・ 第 1 章、第 2 章はまだ対応できていない。第 3 章はエディトリアルな部分が対応できていない。略語の使い方について PWR 側との調整がまだできていない。

資料 64-3-2 レビュー結果整理表 PWR

- ・ 内容についてはコメントリストにあるものは一部を除き対応している。
- ・ 資料 64-3-1,2 は検討会では共有するが、分科会には提示しないこととする。分科会から分科会から出されたコメント以外対応していないのではと問われた際に検討会の中でもレビューをやっていると言えればよい。

- ・ 資料 64-3-1,2 で未対応となっているエディトリアルな部分の対応はいつまでに行うのか。
- JEAC4001 と合わせて中間報告を行う，1 月頃開催の分科会までに対応すればよい。

参考資料-5 PB 共通コメント対応状況

- ・ 後半(No. 11 以降)に，そもそも炉心管理指針として何を書くべきか，JEAC4001 及び 附属書 A も含めどう直すかのコメントとその対応方針が記載してある。
 - ・ PWR と BWR の違いをどこかで明記した方が良いとのコメントに対しては，JEAC4001 の附属書 A の構成を少し変えて記載したいと思っている。
 - ・ 概念的，体系的な説明は JEAC4001 に記載し，炉心管理指針は 3 章，4 章の各項目を中心に具体的な説明に特化するよう明確に切り分けるのが良いと思っている。従って，表 3-1 及び表 4-1 については，JEAC4001 の附属書 A に移動して一元管理し，炉心管理指針からは削除したい。
 - ・ 適用範囲については，規格委員会からわかりやすくコンパクトにとの要望があるので，そのように見直したい。
 - ・ 炉心管理指針には JEAC4001 の運転管理の附属書 A と密接に関連していることをしっかり書いておくのが大切と思う。
 - ・ 炉心管理という言葉がいろいろなところで使われているが，自分たちの言葉で JEAC4001 に定義したい。例えば，炉心管理には，安全管理，運転管理，性能管理がある等。
 - ・ JEAC4001 の改定によって，炉心管理指針の第 3 章，第 4 章の作成工程に影響を及ぼさないようにしたい。
 - ・ 炉心管理以外の部分では，2020 年以降に新たに発刊された/される規格，JEAC4215「取替炉心の安全性の確認に用いる解析コードの適格性評価規程」，JEAC4225「原子燃料に係る臨界安全管理指針」等の内容も含めたい。
 - ・ 分科会への JEAC4001 改定の趣旨報告として，パワーポイント 1 枚程度にエッセンスをまとめる。
 - ・ 今後の検討の流れは，JEAC4001 の運転管理と附属書 A の修正すべき部分の骨格を明確にし，その上で必要最小限にそれを表現する方法を考え，最後に具体的な文章を作っていくこととしたい。
-
- ・ JEAC4001 の改定方針が次回(11/8)の分科会で承認された場合，今後のスケジュールとしては，次々回(来年 1 月末)の分科会の前に二回の検討会を開催する。一回目は JEAC4001 の改定方針を確定，二回目は作業方針を決める，そして，運転管理と附属書 A を一気に書き下すこととする。

(4) その他

- ・ 次回は，11 月末に開催することとし，別途調整して決めることとする。

以 上